

# 令和3年度 研修講座ライブラリー



視聴用URLのやりとりのみで返却不要な  
Youtubeでの視聴可能な講座が増えました。  
ぜひご利用ください！

## 長野県生涯学習推進センター

貸出番号	講座名	おすすめのポイント
R3-1	(地域の教育力向上研修) <b>「発達障がいのある人は、どのような歩みをして大人になっていく～様々なライフステージにわたる支援を考える～」</b>  信州大学医学部 子どものこころの発達医学教室 教授 本田 秀夫	成人期までの様々なライフステージでどのような育てかたや支援をしていくことが望ましいのか、自閉症スペクトラムのある人に焦点をあててお話しいただきます。発達障害研究の第一人者として国内外で活躍されている本田先生のお話から一人一人の個性を大切にすることについて考えます。
R3-2	(地域の教育力向上研修) <b>「ネット社会に生きる子ども達の自覚と自律を目指して」</b> 演題「自覚と自律を目指した情報モラル教育の指導方法」 演習：演題「情報モラル教材の体験」  静岡大学教育学部 准教授 塩田 真吾	今や子どもとネットは切っても切れない関係と なっていますが、便利なツールである一方、依存症などの健康被害やネットトラブルといった問題が懸念されています。子どもたちの現状を知り、ネットの弊害から子どもを守るために、私たち大人が今できることを学びます。
R3-3	(地域の教育力向上研修) <b>「子どもの不安をケアする」</b> 演題「子どもの不安の理解とアセスメント」 演題「子どものための認知行動療法入門」  信州大学教育学部 准教授 高橋 史	子どもが抱える心の問題の深刻さが、さまざまな形で報告されています。この講座では、子育て支援のための認知行動療法を専門とする講師をお招きし、幼児期から思春期までの不安や緊張が高い子への支援、また、怒りをコントロールしストレスに負けない心と体について、講義と演習を通して学びます。
R3-4	(地域づくり推進研修) <b>「どんなときも自分らしく生きる幸せ～不思議なパン屋の哲学を通して」</b> 演題「菌とのかかわりから考える共生の社会づくり」  野生の菌で醸すパン、地ビール&カフェ「タルマーリー」 オーナーシェフ 渡邊 格	日々の生活の中で「何かおかしいな」「本当にやりたいことは他にあるのに」と思うことはありませんか。ベストセラー『田舎のパン屋が見つけた「腐る経済」』の著者である渡邊 格氏を迎え、楽しい時間もつまらない時間も、経験したことすべてが自分の糧になるような「自分の時間を全部生きる」について考える機会とします。
R3-5	(地域づくり推進研修) <b>「運動遊びを通してコミュニケーションスキルアップ！～オンラインで進めるグループワークに挑戦～」</b>  日本グループワークトレーニング協会 犬飼 己紀子	ネット社会の広がりに伴い、人間関係にぎこちなさを感じる事が多くなりました。レクリエーション・ゲームやグループワークを通し、まず、自分自身の行動を客観的に振り返ります。さらに、グループにおける自分の行動や声掛けの特徴に気づくことで、コミュニケーション力を磨く学習法を体験します。
R3-6	(持続可能な社会づくりに向けた教育の新しい在り方) <b>「ESD/SDGsが育むつながりと持続可能な社会」</b> 信州大学学術研究院人文社会科学域教育学系 准教授 安達 仁美  事例発表Ⅰ「高校生の『やりたいこと』に伴走する地域と学校の取り組み」 長野県白馬高等学校 事例発表Ⅱ「地域ぐるみで子どもを育むESD for SDGs ～小学校と公民館の連携～」 飯田市南信濃公民館	地球環境の異変をはじめ、世界には様々な課題が山積しています。これらはひとりひとりが理解して、行動につなげていく必要があります。ESD(持続可能な開発のための教育)の考え方や、具体的な方策であるSDGs(持続可能な開発目標)の内容を学び、これからの学校教育や社会教育の場面で、「持続可能な社会」実現のためにできることを考えます。
R3-7	(共生社会の実現) <b>「“ともに生きる”を目指して」</b> 演題 「ふくしを学びあう～共に生きる力をどう育むか～」 日本福祉大学 社会福祉学部 教授 原田 正樹  事例発表Ⅰ「地域の課題に対応するコミュニティワーカーとして」 社会福祉法人 御代田町社会福祉協議会  事例発表Ⅱ「多文化共生事業(日本語教室を通じた外国人と地域住民との交流、外国人児童生徒のキャリア支援活動)」 飯田市公民館 学習支援係  パネルディスカッション <b>「コロナ禍の福祉教育をどうすすめる?～今だからこそできること～」</b> パネリスト 社会福祉法人 御代田町社会福祉協議会 担当者 飯田市公民館 学習支援係 担当者  コメンテーター 日本福祉大学 社会福祉学部 教授 原田 正樹	新型コロナの感染拡大は、私たちの暮らしに大きな影響を与えています。また、心だんの暮らしのしあわせをつくるための「福祉教育」が注目されています。本講座では諏訪市出身の原田正樹先生をお迎えし、共に生きる力を育むための「福祉教育」の推進について、講義と事例発表等を通して考えます。
R3-8	(地域づくり推進研修) <b>「災害からの復興を支える地域の学びあい」</b> 講義「地域のレジリエンスをつくる学びあい」 東北大学大学院教育学研究科 准教授 石井山 竜平  座談会「復興の現場から学び取りたいこと」 東北大学大学院教育学研究科 准教授 石井山 竜平 駒ヶ根市赤穂公民館 館長 小松 民敏	近年大規模自然災害の発生や、新型コロナ感染拡大により、私たちは命や生活の危機に直面しています。本講座では、被災地で地域に暮らす人たち自らが主役となって復興に取組む現場に寄り添いながら研究されている講師より、災害からの復興に果たす地域での学びあいの大切さについて考えます。

R3-9	(地域づくり推進研修) <b>「地域づくりの支え手入門講座」第1回</b> 第1回「地域づくりの支え手の役割とは」 基調講演「地域づくりの支え手の役割」 株式会社エンパブリック 広石 拓司 パネルディスカッション「支え手が語る、地域の魅力と取組」 パネリスト 栄村公民館 主事 上田市 蚕都くらぶ・ま〜ゆ 代表 安井 啓子 伊那市社会福祉協議会 地域福祉コーディネーター 飯田市南信濃公民館 主事	県内各地で地域課題に向き合う取組から、活動の成果や課題に学び、自らの地域活動につなげることをねらいとして開催します。多彩なテーマ、様々な立場の人たちと学ぶことにより、活動に対する視野やつながりを広げることもねらいとします。
R3-10	(地域づくり推進研修) <b>「地域づくりの支え手入門講座」第2回 栄村小滝区</b> テーマ 「持続可能な地域づくり」 実践発表「300年後に続く地域づくりを目指して」 実地研修「復興の現場を歩く」 コーディネーター・講師 栄村小滝区の皆さん	2011年3月に起こった震災からの復興をきっかけとして始まった、300年後も住み続けることを目指した栄村小滝地区の地域づくりの取組について学びます。
R3-11	(地域づくり推進研修) <b>「地域づくりの支え手入門講座」第3回 上田市</b> テーマ 「つながりの役割」 コーディネーター 蚕都くらぶ・ま〜ゆ 代表 安井 啓子 講師 蚕都くらぶ・ま〜ゆ メンバーの皆さん	20年間にわたり、地域通貨を活用したつながりづくりと地域づくりに取り組む「蚕都くらぶ・ま〜ゆ」の歩みと実際の活動について、中心となって活動を支えてこられたメンバーの皆さんのお話を通して、つながりの大切さについて学びます。
R3-12	(地域づくり推進研修) <b>「地域づくりの支え手入門講座」第4回 伊那市</b> テーマ 「子どもと地域」 事例発表「子どもたちの居場所づくりの取組に学ぶ」 フリーキッズヴィレッジ 事例発表「子どもたちの育ちに向けた地域と学校の連携事例に学ぶ」 長谷中学校	“子どもたちの居場所づくり” “地域と学校の連携” など、伊那市社会福祉協議会がかかわる多彩な取組から、子どもたちの育ちのために大切なことを学びます。
R3-13	(地域づくり推進研修) <b>「地域づくりの支え手入門講座」第5回 飯田市</b> テーマ「女性・若者と地域」 「和田宿にぎやかし隊」の活動拠点「ゲストハウス太陽堂」 リレートーク「女性や若者たちが語る遠山郷のありたい未来」 コーディネーター 飯田市南信濃公民館主事 話題提供者 和田宿にぎやかし隊 山暮らしカンパニー	中山間地域で関係人口づくりに取り組む若者や女性たちから、地域参加や次世代育成について学びます。
R3-14	(地域づくり推進研修) <b>「地域づくりの支え手入門講座」第6回 振り返り</b> 各回の参加者、コーディネーターによる第1回～5回までの振り返り 総括講演「地域づくりの支え手に必要な備えとは」 (一社)つながりのデザイン 代表 船木 成記	ここまでの講座について振り返り、支え手中山間地域で関係人口づくりに取り組む若者や女性たちから、地域参加や次世代育成について学びます。
R3-15	(公民館の現代的役割を考える) <b>「公民館の現代的役割を考える」</b> 事例発表Ⅰ「住んでみたい・訪れてみたい入山辺を目指す住民主体の地域づくり」 松本市入山辺公民館 事例発表Ⅱ「幸せのシェア～コロナ禍の“今”だからこそやれること～」 塩尻市広丘公民館原新田分館 講義「公民館の現代的役割を考える～主としてその担い手をめぐって～」 日本体育大学スポーツマネジメント学部 教授 上田 幸夫 座談会「担い手と支え手が語る、公民館の現代的な役割」 登壇者 上田 幸夫 松本市入山辺公民館館長・主事 塩尻市中央公民館主事 塩尻市広丘公民館原新田分館主事	少子高齢人口減少により、多くの地域が存続の危機を迎えています。一方地球温暖化が原因と思われる豪雨災害などが多発し、各地で復旧・復興の取組が進められています。そして本年はコロナ禍により社会的孤立など様々な課題が顕在化しています。講義・事例発表・パネルディスカッションを通して、新たな課題が取り巻く現代の地域社会における、これからの公民館の役割とは何かを学びます。
R3-16	(学びのカフェ) <b>「高校生の育ちと大人の学びのつながりを、学校と、地域や社会の双方から考える」</b> 話し手 (一社)アスバシ教育基金 代表理事 毛受 芳高 (一社)つながりのデザイン 代表 船木 成記 飯田OIDE長姫高校 教諭 飯田市公民館 主事	学習指導要領が改訂され、探究的な学びが小中高生に共通した教育の柱に位置付けられました。正解がないといわれる時代に児童や生徒にとって何よりも求められるのは、仲間とともに主体的に学ぼうという「学びに向かう力」です。本講座では高校生の育ちに焦点を当て、生徒たちの育ちと地域や社会との関わり・役割について考えることをねらいとします。
R3-17	(学びのカフェ) <b>「地域に寄り添うファシリテート力、コーディネート力をつけるために」</b> 話し手 (一社)つながりのデザイン 代表 船木 成記 (公財)長野県長寿社会開発センター シニア活動推進コーディネーター 戸田 千登美 伊那市社会福祉協議会 地域福祉コーディネーター 新美 亮介	自分たちの周りにある課題を解決するために大切なのは、その課題に一人ではなく他者と力を合わせて向き合うこと。その時に大切なのは仲間とともに学び活動することができる「場づくり＝ファシリテート」と、仲間の「思いをつなげ、解決の道筋をつくる＝コーディネート」の役割です。

☆貸し出しは無料です。DVDの場合返却時の送料のみ、利用者負担です。

ホームページ  
「研修講座貸出しページ」はこちら→

